Operation Guide 2877

CASIO

操作のしくみと表示の見方

Ⓓ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

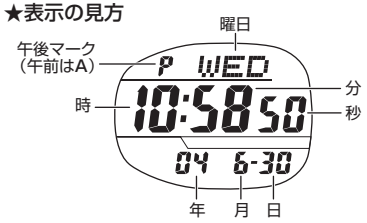
時刻モード



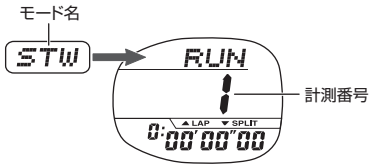
★曜日の見方

SUN：日　MON：月　TUE：火　WED：水
THU：木　FRI：金　SAT：土

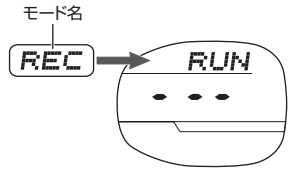
★表示の見方



ストップウオッチモード

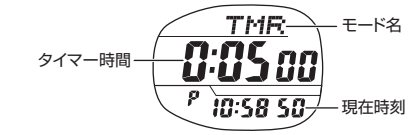


リコールモード



*データが1本もメモリーされていない場合。

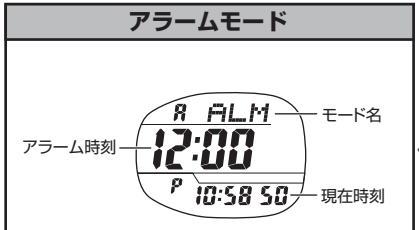
タイマーモード



ワールドタイムモード



アラームモード



ライト点灯について

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けるとライトが点灯するオートライト機能もあります。

■ ボタンを押して点灯させる
～手動点灯～

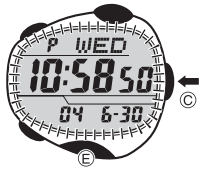
- 時刻モード、ストップウオッチモード、タイマーモードのとき

Ⓒ ボタンを押します

- リコールモード、ワールドタイムモード、アラームモード、各セット状態（表示点滅）のとき

Ⓔ ボタンを押します

<時刻モード>



➡ ライトが点灯します。

※点灯時間は約1.5秒間と約2.5秒間のいずれかを選ぶことができます（「■ ライト点灯時間の切り替え」参照）。

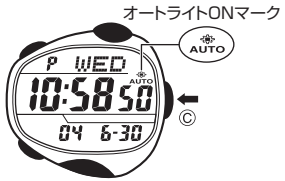
※ オートライトOFFのときもⒸまたはⒺボタンを押すと点灯します。

本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。これはオートライト機能のためのスイッチ（金属球）が内部で動くための音で、故障ではありません。

■ 時計を傾けて点灯させる
～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくてもライトが点灯する便利な機能です。
暗い場所で時刻などを見るときに大変便利です。
オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけでライトが約1.5秒間または約2.5秒間点灯します。

準備：時刻モードのとき、Ⓒボタンを約2秒間押し続けて、オートライトON（オートライトONマーク点灯）にします。



※オートライトONのとき、Ⓒボタンを約2秒間押し続けるとオートライトOFF（オートライトONマーク消灯）に戻ります。

●ライトを点灯させる



※オートライト機能を使用するときは、時計を**「手首の外側」**にくるようにつけてください。

※文字板の左右（3時－9時方向）の角度を± 15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると点灯しにくくなります。



〈ご注意〉

- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中に操作確認音の鳴るボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。
- ライト点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

〈オートライトご使用時の注意〉

- オートライトが作動するのは、“AUTO”を点灯させてから約6時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的に“AUTO”が消え、オートライトOFFになります。

※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度Ⓒボタンを約2秒間押し続けて“AUTO”を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。

- 時計を傾けたとき、ライトの点灯が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- ライト点灯後、時計を傾けたままにしておいても、点灯は約1.5秒間または約2.5秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても点灯することがあります。**オートライトを使用しないときは必ずOFF**にしておいてください。

※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。

- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、点灯しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも点灯しにくいときは、腕を下からふりあげてみると点灯しやすくなります。

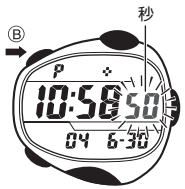
■ライト点灯時間の切り替え

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓑボタンを約2秒間押します

➡「秒」が点滅します。



2. 点灯時間を選ぶ

Ⓐボタンを押します

➡Ⓐボタンを押すごとに約1.5秒間と約2.5秒間が切り替わります。

※ ∴ マーク＝約1.5秒間
※ ※ マーク＝約2.5秒間



3. セットを終わる

Ⓑボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。



■計測のしかた

●通常計測

Ⓔ スタート → Ⓐ ストップ → Ⓐ リセット → Ⓐ（約2秒） メモリー

●ラップ／スプリットタイム計測

Ⓔ スタート → Ⓔ ラップ／スプリット → Ⓔ ラップ／スプリット → ・・・

・・・ Ⓐ ストップ（最終ラップ／スプリット） → Ⓐ リセット → Ⓐ（約2秒） メモリー

スタート

ストップウオッチモードのとき、Ⓔボタンを押すと、計測がスタートします。

※計測は1/100秒単位で行ないます。



ラップ／スプリット

計測中に、Ⓔボタンを押すと、ラップ／スプリットタイムを計測します。

※ラップ／スプリットを計測すると、そのときのタイムを約5秒間表示します（この間内部では計測を続けています）。

※ラップ／スプリットは01～500までカウントします（500を超えると"FULL"を表示）。



ストップ

計測中に、Ⓐボタンを押すと計測がストップします。

※Ⓐボタンでストップ後、Ⓔボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。



リセット

計測ストップ後、Ⓐボタンを押すと、計測値が0になり、計測番号表示に戻ります。

※同じ計測番号のまま次の計測を行なうとデータが上書きされます。

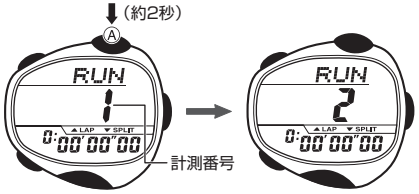


メモリー（計測番号が進みます）

計測リセット後、Ⓐボタンを約2秒間押すと、データがメモリーされ、計測番号が1つ進みます。

※メモリー操作を行なわずに次の計測を行なうと、表示している計測番号のデータに上書きします。

※計測をスタートしてからストップ／リセットするまでを一連の計測としてメモリーします。



最新データの消去（計測番号が戻ります）

計測リセット後、Ⓑボタンを約2秒間押すと、最新のデータが消去され、計測番号が1つ戻ります。

※戻った計測番号のまま次の計測を行なうと、表示している計測番号のデータに上書きします。データを上書きしたくない場合は、Ⓐボタンを約2秒間押して計測番号を1つ進めてから次の計測を行なってください。

※計測をスタートしてからストップ／リセットするまでを一連の計測として消去します。

＊すべてのデータを消去するときは「● すべてのデータを消去する」参照。

●メモリーについて

ラップ／スプリットタイムを最大500本までメモリーすることができます。また、一連の計測ごとに計測月日と、最大341本までのベストラップもメモリーすることができます。

例1）一連の計測結果が1つだけの場合
計測1：ラップ／スプリット500本、計測月日、ベストラップ1本

例2）複数の計測結果がある場合
計測1：ラップ／スプリット200本、計測月日、ベストラップ1本
計測2：ラップ／スプリット41本、計測月日、ベストラップ1本
計測3：ラップ／スプリット259本、計測月日、ベストラップ1本
ラップ／スプリット合計500本

●メモリー容量をオーバーしたときは

ラップ／スプリットタイムは、500本を超えると"FULL"を表示します。"FULL"を表示しても計測し続けますが、メモリーはされません。

※"FULL"表示のときは、これ以上メモリーできませんので、不要なデータを消去してから再度計測を行なってください。

＊上記「最新データの消去」、「● すべてのデータを消去する」参照。

ストップウオッチの使い方

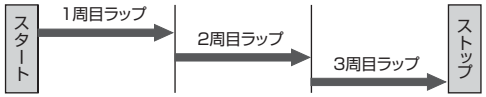
「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
Ⓓボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは、1/100秒単位で99時間59分59秒99（100時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。
ラップ／スプリットタイムを最大500本までメモリーすることができ、メモリーしたデータはリコールモードで見ることができます。

●ラップタイムとスプリットタイム

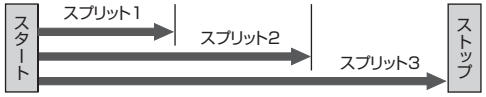
ラップタイムは任意の区間（周回競技では1周分）を進むのに要する時間のことです。

例）ラップタイム



スプリットタイムはスタート地点から任意の地点までの経過時間のことです。

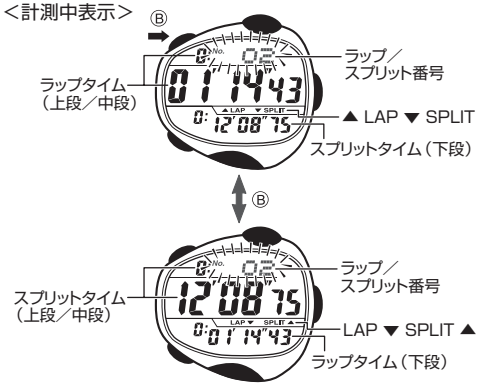
例）スプリットタイム



●表示入れ替えについて

ラップタイムとスプリットタイムはⒷボタンを押すと入れ替えることができます。

＜計測中表示＞



計測単位＝1/100秒
計測範囲＝99時間59分59秒99（100時間計）
表示範囲＝上段／中段：9時間59分59秒99
下段：99時間59分59秒99
ラップ／スプリット数＝01～500

■ リコールモードの使い方

メモリーしたデータはリコールモードで見ることができます。

※「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⒹボタンを押し、リコールモードにします。



※リコールモードに切り替えると、最新の計測番号を表示します。

※ストップウオッチ計測中およびデータがメモリーされていないときは、計測月日が“－－－－”表示となります。

※一連の計測でラップ／スプリットタイムの本数が多いときは、データを読み込むのに時間がかかる場合があります（データの読み込み中は計測番号が点滅します）。

●データを見る

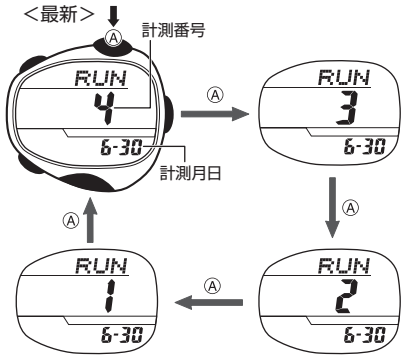
1. 計測番号を選ぶ

リコールモードのとき

Ⓐボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとに、最新の計測番号から順に表示します。

※押し続けると早送りします。



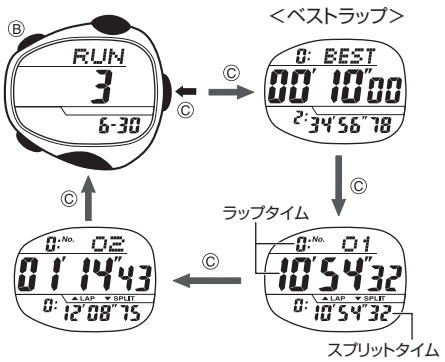
2. 計測結果を見る

Ⓒボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとにベストラップ、ラップ／スプリットタイムを表示します。

※ベストラップは最大３４１データまで表示します（342 データ以降は表示されません）。

※ラップタイムとスプリットタイムはⒷボタンを押すと入れ替えることができます。



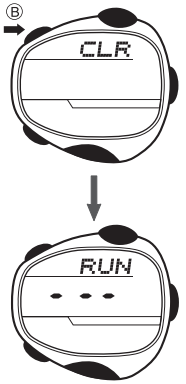
●すべてのデータを消去する

リコールモードのとき

Ⓑボタンを約2秒間押し続けます

➡Ⓑ ボタンを約２秒間押すと“CLR”が表示されて、すべてのデータが消去されます。

※ストップウオッチ計測中および計測値がリセットされていないときは、データの消去ができません。ストップウオッチモードで計測がストップ／リセットしていることを確認してから操作を行なってください。



タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
Ⓓ ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは１分単位で24時間までセットでき、１秒単位で減算計測を行ないます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると、５秒間電子音が鳴ります。
タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■ タイマー時間のセット

1. セット状態にする

タイマーモードのとき

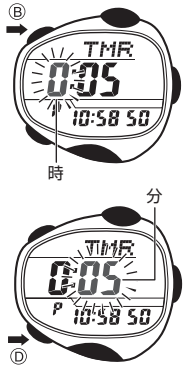
Ⓑ ボタンを約２秒間押します

➡「時」が点滅します。

2. セット箇所を選ぶ

Ⓓボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

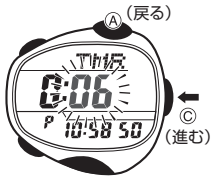


3. 点滅箇所のセット

Ⓒ または Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓐ ボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓒ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。



Ⓓボタンを押して点滅箇所を移動させ、ⒸまたはⒶボタンを押してセットする操作を繰り返して、タイマー時間を合わせます。

※１分単位で 24 時間までセットできます。

※タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を「0:00」にします。

4. セットを終わる

Ⓑボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ タイマー計測方法の選び方

本機のタイマーは以下の２種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

● リピートタイマー（繰り返し計測）
タイムアップすると、タイマー時間を表示して計測が止まります。

● オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）
タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行ないます。

※オートリピートタイマーを選ぶと、“↻”マークが点灯します。

●タイマー計測方法を選ぶ

タイマーモード（計測リセット状態）のとき

Ⓐボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとにリピートタイマーとオートリピートタイマーが切り替わります。

※オートリピートタイマーのときは、“↻”マークが点灯します。



■ タイマーの使い方(減算計測のしかた)

スタート

タイマーモードのとき、Ⓔボタンを押すと、計測がスタートします。

※計測は1秒単位で行ないます。

ストップ

計測中に、Ⓐ ボタンを押すと、計測がストップします。

※ロスタイムがあるときは、Ⓐボタンでストップ後、Ⓔボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

リセット

計測ストップ後、Ⓐボタンを押すと、計測前の表示に戻ります。



■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、５秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
Ⓓ ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界27都市（29タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。
※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも24時間制で表示されます。

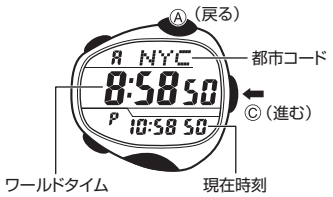
時刻モードで基本時刻およびホームタイム都市をセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。
*「時刻・カレンダーの合わせ方」参照。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

Ⓒ または Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに都市コードが進み、Ⓐ ボタンを押すごとに戻ります。
※Ⓒ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。



※都市コードのないタイムゾーンでは、時差を表示します。

■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓒ または Ⓐ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓑ ボタンを約２秒間押します

➡Ⓑボタンを約2秒間押すごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。
※サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。
※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。ただし、“GMT”表示のときはサマータイムの設定はできません。



■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
–––	–11		JED	+3	ジェッダ
HNL	–10	ホノルル	THR	+3.5	テヘラン
ANC	–9	アンカレジ	DXB	+4	ドバイ
LAX	–8	ロサンゼルス	KBL	+4.5	カブール
DEN	–7	デンバー	KHI	+5	カラチ
CHI	–6	シカゴ	DEL	+5.5	デリー
NYC	–5	ニューヨーク	DAC	+6	ダッカ
CCS	–4	カラカス	RGN	+6.5	ヤンゴン
RIO	–3	リオデジャネイロ	BKK	+7	バンコク
–––	–2		HKG	+8	香港
–––	–1		TYO	+9	東京
GMT	+0	<グリニッジ標準時>	ADL	+9.5	アデレード
LON	+0	ロンドン	SYD	+10	シドニー
PAR	+1	パリ	NOU	+11	ヌーメア
CAI	+2	カイロ	WLG	+12	ウェリントン
JRS	+2	エルサレム			

※この表は2004年6月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時(UTC)を基準としたものです。

アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
Ⓓ ボタンを押し、アラームモードにします。

アラームは時・分を設定でき、設定した時刻になると10秒間電子音が鳴ります。
また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

■アラーム時刻のセット

1. セット状態にする

アラームモードのとき

Ⓑ ボタンを約２秒間押します

➡「時」が点滅します。
※アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。



2. セット箇所を選ぶ

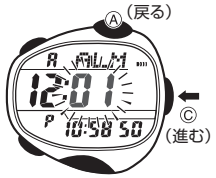
Ⓓボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



3. 点滅箇所のセット

Ⓒ または Ⓐ ボタンを押します



➡Ⓒ ボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓐ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓒ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。

Ⓓボタンを押して点滅箇所を移動させ、ⒸまたはⒶボタンを押してセットする操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます。

※「時」のセットのとき午前“A”／午後“P”、または24時間制にご注意ください。
※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

4. セットを終わる

Ⓑボタンを押します

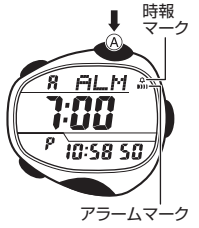
➡点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

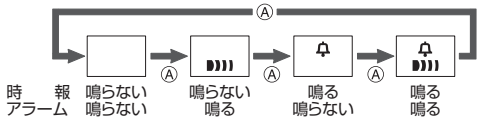
■アラーム・時報のON／OFF設定

アラームモードのとき

Ⓐボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとにアラームマークと時報マークが点灯／消灯を繰り返します。
※それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。





■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■モニターアラーム

アラームモードでⒸボタンを押し続けると、押している間、電子音が鳴ります。

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

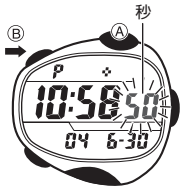
1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓑ ボタンを約２秒間押します

➡「秒」が点滅します。

※ 秒が点滅しているときにⒶボタンを押すと、ライトの点灯時間を切り替えることができます（「■ ライト点灯時間の切り替え」参照）。

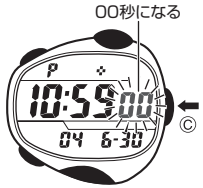


2. 「秒」合わせ

時報に合わせてⒸボタンを押します

➡00秒からスタートします。

※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって00秒になります（時報は「時報サービス電話117番」が便利です）。



3. 「サマータイム設定」にする

Ⓓボタンを押します

➡サマータイムの設定になります。

＊サマータイム（DST）については「■ サマータイム（DST）について」参照。



4. サマータイムのON／OFFを選ぶ

Ⓒボタンを押します

➡ⒸボタンをONごとにON／OFFが切り替わります。

※ OFF＝サマータイムOFF（通常時間）
ON＝サマータイムON（夏時間）



5. 「ホームタイム都市設定」にする

Ⓓボタンを押します

➡都市コードが点滅します。



6. ホームタイム都市を選ぶ

ⒸまたはⒶボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すごとに都市コードが進み、Ⓐボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓒ・Ⓐボタンとも、押し続けると早送りします。

＊「■ 都市コード一覧」参照。

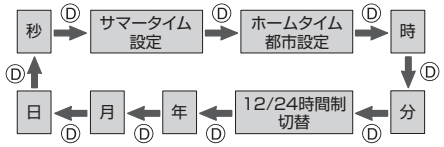


7. 「時刻・カレンダー」合わせ

a. **Ⓓボタンを押します**

➡Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

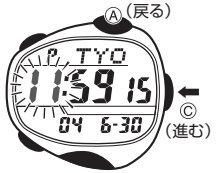




b. **ⒸまたはⒶボタンを押します**

➡Ⓒボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓐボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓒ・Ⓐボタンとも、押し続けると早送りします。



Ⓓボタンを押して点滅箇所を移動させ、ⒸまたはⒶボタンを押してセットする操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「12/24時間制切替」のときは、Ⓒボタンを押すごとに12時間制表示“12H”と24時間制表示“24H”とが切り替わります。

※「時」のセットのとき午前“A”／午後“P”、または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000年～2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

8. セットを終わる

Ⓑボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。